

科目番号: 72

分野	専門分野(精神看護学)				
科目名(必修)	精神看護学概論				
単位数(時間)	1単位(30時間)	対象学年	1年次	担当講師	実務経験
講義回数	15回	開講時期	後期		臨床心理士 専門看護師
テキスト					
系統看護学講座 専門分野 精神看護学[1] 精神看護の基礎(医学書院)					
系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2] 精神看護の展開(医学書院)					
目的					
人の心の働き・構造・発達の基礎知識を学び、精神に障がいを持つ人の理解、精神看護への活用へとつなげる。					
目標					
1. 人のこころのはたらきについて、様々な視点で理解できる。					
2. こころの発達を発達理論に基づいて理解できる。					
3. 精神看護における対象と看護師の関係について理解できる。					
4. 精神看護で活用する技能について理解できる。					
授業計画・授業内容					
回	授業内容				授業方法
1	精神看護の考え方(社会環境の変化と社会病理/精神看護とは)				講義
2	精神の健康の考え方(精神・心とは/精神の健康/ウォーリン レジリエンス)				講義
3	精神の機能と発達(こころの仕組みと人格の発達/自我の機能/フロイト 自我の発達/トラベルビー)				講義
4	精神の成長・発達(エリクソンの心理社会的発達論)				講義
5	精神保健医療福祉と看護の歴史(諸外国/日本の歴史)				講義
6	精神保健医療福祉の変遷と法や施策				講義
7	精神保健医療福祉における課題				講義
8	危機と危機介入(危機の概念/危機の種類/アギュララの危機回避モデル)				講義
9	危機と危機介入(危機介入/各発達段階における危機と予防/ラザルス ストレスコーピング理論)				講義
10	災害時地域精神保健医療活動				講義
11	医療の場における精神保健と看護(リエゾン精神看護の定義/役割/対象)				講義
12	医療の場における精神保健と看護(活動の実際/看護師のメンタルヘルスへの支援)				講義
13	地域におけるケアと支援(地域生活を支えるシステムと社会資源)				講義
14	地域におけるケアと支援(アウトリーチと多職種連携/家族システム)				講義
15	試験・まとめ				講義
評価方法・評価基準					
筆記試験100%とし、100点中60点以上を合格とする。					
その他					

科目番号: 73

分野	専門分野(精神看護学)				
科目名(必修)	精神に障がいを持つ人の理解				
単位数(時間)	1単位(15時間)	対象学年	2年次	担当講師	実務経験
					医師
講義回数	7回	開講時期	前期		
テキスト					
系統看護学講座 専門分野 精神看護学[1] 精神看護の基礎(医学書院)					
系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2] 精神看護の展開(医学書院)					
目的					
心の健康におよぼす様々な要因を知り、精神の健康課題を持つ人の理解と、こころの健康の回復、維持・増進のための援助について学ぶ。					
目標					
1. 精神に障がいを持つ人の特徴及び治療が理解できる。					
2. 精神に障がいを持つ人の看護の基本的な考え方が理解できる。					
授業計画・授業内容					
回	授業内容				授業方法
1	脳と精神機能/精神医学とは/患者の人権擁護				講義
2	病体の特徴と診断・治療/精神障害を持つ人の理解(統合失調症)				講義
3	病体の特徴と診断・治療/精神障害を持つ人の理解(統合失調症)				講義
4	病体の特徴と診断・治療/精神障害を持つ人の理解(気分障害)				講義
5	病体の特徴と診断・治療/精神障害を持つ人の理解(パニック障害/PTSD/脅迫性障害)				講義
6	病体の特徴と診断・治療/精神障害を持つ人の理解(認知症/知的・発達障害/摂食障害)				講義
7	病体の特徴と診断・治療/精神障害を持つ人の理解(パーソナリティ障害)				講義
8	試験				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法・評価基準					
筆記試験100%とし、100点中60点以上を合格とする。					
その他					

科目番号: 74

分野	専門分野(精神看護学)				
科目名(必修)	精神に障がいを持つ人の日常生活を支える看護				
単位数(時間)	1単位(30時間)	対象学年	2年次	担当講師	実務経験
					看護師
講義回数	15回	開講時期	前期		
テキスト					
系統看護学講座 専門分野 精神看護学[1] 精神看護の基礎(医学書院)					
系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2] 精神看護の展開(医学書院)					
目的					
精神に障がいを持つ人とその家族の日常生活、及び地域で暮らし続ける上で必要な看護について考える。					
目標					
1. 精神に障がいを持つ人の生活の特徴が理解できる。					
2. 精神に障がいを持つ人の家族の看護が理解できる。					
3. 地域生活を支えるシステムとケアの方法と実際について理解できる。					
授業計画・授業内容					
回	授業内容				授業方法
1	ケアの人間関係(ペプロウ 人間関係の看護論/プロセスレコード)				講義
2	統合失調症を持つ人の精神身体症状とセルフケアアセスメント				講義
3	統合失調症の経過に応じた看護(急性期～回復期)				講義
4	統合失調症の経過に応じた看護(社会生活維持期～慢性期)				講義
5	気分障害を持つ人の精神身体症状とセルフケアアセスメント				講義
6	気分障害を持つ人の経過に応じた看護				講義
7	神経症性障害を持つ人の精神身体症状とセルフケアアセスメントと看護				講義
8	境界性パーソナリティ障害を持つ人の生活と看護				講義
9	摂食障害を持つ人の生活と看護				講義
10	依存症を持つ人の生活と看護				講義
11	訪問看護を取り巻く社会と訪問看護の実際				講義
12	退院促進と訪問看護				講義
13	地域で精神に障がいを持つ人を支援する際のシステムと方法				講義
14	ソーシャルスキルトレーニングの理論と実際				講義
15	試験・まとめ				講義
評価方法・評価基準					
筆記試験100%とし、100点中60点以上を合格とする。					
その他					

科目番号: 75

分野	専門分野(精神看護学)				
科目名(必修)	精神に障がいを持つ人の看護過程				
単位数(時間)	1単位(15時間)	対象学年	2年次	担当講師	実務経験
					看護師
講義回数	8回	開講時期	後期		
テキスト 系統看護学講座 専門分野 精神看護学〔1〕 精神看護の基礎(医学書院) 系統看護学講座 専門分野 精神看護学〔2〕 精神看護の展開(医学書院) リンダJ.カルペニート著 黒江ゆり子監訳 看護診断ハンドブック 第11版(医学書院)					
目的 精神に障がいを持つ人のの事例を通し看護過程を展開する能力を養う。					
目標 1. 精神に障がいを持つ人の特徴を踏まえて看護過程の展開できる。 2. 精神に障害をもつ人とその家族への看護を理解できる。					
授業計画・授業内容					
回	授業内容				授業方法
1	統合失調症の事例紹介 (精神障がいを持つ人の看護過程の展開の特徴/全体像の捉え方)				講義
2	ゴードンの11の健康機能パターンを使用したアセスメント				演習
3	ゴードンの11の健康機能パターンを使用したアセスメント/関連図				演習
4	看護診断の抽出				演習
5	看護診断発表会				演習
6	看護計画立案				演習
7	看護計画立案				演習
8	看護計画発表				演習
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法・評価基準					
レポート、課題提出内容、発表内容、出席態度、出席時間を総合的に評価し、100点中60点以上を合格とする。					
その他					
〈参考書〉百瀬千尋編著 看護学生のためのレポート&実習記録の書き方(メヂカルフレンド社)					